

# 辻井遺跡

—第39次発掘調査報告書—



2019

姫路市教育委員会

## 1. 調査に至る経緯・事業の経過

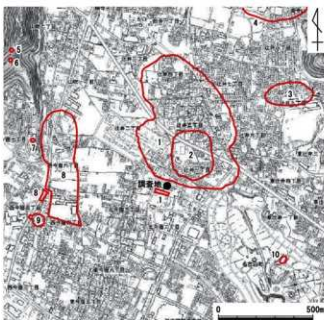
姫路市北今宿二丁目177番2において、宅地造成工事が計画された(図1・2)。計画地が周知の埋蔵文化財包蔵地である辻井遺跡(県遺跡番号020162)に近接することから、平成30年2月20日に工事に先立ち試掘調査(第38次調査・調査番号:20170500)を実施したところ、柱穴等の遺構を検出するとともに土師器・須恵器が出土した。この結果、辻井遺跡が従来の範囲より南に広がることが明らかになった。その後、事業者と協議し工事範囲である52.5㎡を対象に本発掘調査を実施することとなった。平成30年3月19日に協定書を締結し調査を開始した。現地調査(調査番号:20170550)に要した期間は、平成30年3月23日から3月31日であった。現地調査終了後、整理作業及び発掘調査報告書の作成を行い、本書の刊行をもって事業を完了した。調査体制は以下のとおりである。

姫路市教育委員会		文化財課		埋蔵文化財センター	
教育長	中杉隆夫(平成30年3月31日まで)	課長	花嶋和宏	館長	前田光則
	松田克彦(平成30年4月1日以降)	課長補佐	大谷輝彦(調整)	課長補佐	岡崎政俊(庶務)
教育次長	名村哲哉	技師	黒田祐介(調整)	係長	森恒裕(調整)
生涯学習部				技術主任	南 惠和(調査・整理)
部長	岡田俊勝				

## 2. 遺跡の周辺環境

辻井遺跡は縄文時代中期から弥生時代及び奈良時代の集落遺跡である。既往調査により縄文時代後期とみられる土坑や、晩期の土坑墓が確認されているが、集落の中心時期は弥生時代中期後半(IV期)とみられ、堅穴住居跡、溝等が検出されている。集落は弥生時代後期(V期)まで存続するが、中期に比べると遺構数は減少し、庄内併行期に入るまでに消失するとみられている。白鳳期から奈良時代には辻井廃寺が存在した。遺跡の南東側に位置する名古山には弥生時代中期後葉(IV期末)の名古山遺跡が所在する。名古山遺跡では堅穴住居跡・土坑墓・壺棺等が検出され、堅穴住居跡からは袈裟襷文銅鐸の石製鋳型片が出土しており銅鐸製作工房の可能性が指摘されている。

辻井遺跡は東西を旧河道に挟まれた微高地上に立地することが既往調査等により確認されている(註1)。これらの旧河道は遺跡の南で交わり名古山西麓を南流するとみられており、調査地は微高地の南端部にあたると想定される。



1. 辻井遺跡 2. 辻井廃寺 3. 山崎山1号墳～7号墳 4. 大谷口遺跡 5. 地山3号墳  
6. 地山2号墳 7. 地山1号墳 8. 山吹遺跡 9. 今宿遺跡 10. 名古山遺跡

図1 辻井遺跡と周辺遺跡 (S=1:20,000)

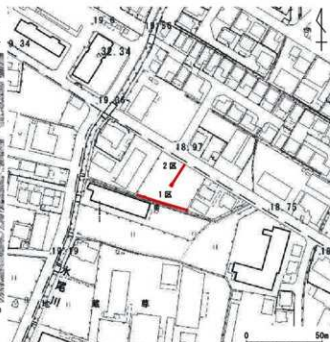


図2 調査区位置図 (S=1:2,500)

### 3. 調査の成果

調査区は調査地南辺のものを1区、北辺中央部から南に延びるものを2区と呼称した(図2)。調査地は1区東端から西へ約8mまでの範囲を除き大半が旧河道及び低地に位置しており、1区東端部では耕土(約20cm)、にぶい黄色シルト質粘土(約5cm)を経て、T.P. 18.1mで明黄褐色シルト質粘土～オリーブ黒色粘質土(基盤層)に達した。遺構は基盤層の上面で検出した。検出した遺構は、1区では溝3条(SD01～03)、旧河道1条(SR01)、ピット4基(SP01～04)、2区では旧河道1条(SR02)である(図3)。

#### (1) 1区の遺構・遺物

**遺物包含層** 1区の東端付近を除く範囲で確認された(図4)。その東端付近で須恵器壺または甕(図6-1)、土師器把手(同2)が出土した。1は奈良時代以前、2は古墳時代に属すとみられる。

**溝** SD01～03は旧地形が西に下降する範囲に位置する(図3)。SD01・03は幅30cm前後、深さ10cmを測る小規模なもので、断面形はU字形を呈す。遺物は出土しなかった。SD02はSR01東端と重複しており、土層断面からSR01埋没後に掘削されたことが判明した(図4)。幅55cm、深さ30cmを測り、断面形はU字形を呈す。埋土は2層に分かれ、下層から弥生土器高杯(図6-5)が出土した(図3・写真図版1)。ラッパ状に開く脚端上部に8～9箇所穿孔を有し、脚端部はわずかに拡張される。中期(Ⅲ～Ⅳ期前半)に属すとみられる。ただし、SD02の時期は後述するSR01に後出するため、古墳時代以降と考えられる。

なお、弥生土器の甕(図6-3)、小形多孔土器(同4)は、SD02とSR01の切合いを把握する目的で設定した断割内から出土したものである。3は胴部から口縁部が水平方向に屈曲し端部は上方に小さく拡張される。灰褐色を呈し胎土に雲母を比較的多く含むため搬入品と思われる。後期(V期)から庄内併行期に属すとみられる。4は側面に直径3～7mmの小孔が29箇所、底部に径4mm前後の小孔が10箇所に穿たれる。<sup>(註2)</sup> 中期のものと思われる。

**旧河道** 1区の東端付近を除き広範囲に認められる灰黄褐色粘質土(図4-19層)以下をSR01とした。その東端部、中央部、西端付近にトレンチ(φ11～3)を設定し堆積状況を把握した。φ11では検出面から1.0mまで掘削したが河道の底に達しなかった。φ11・2では河川堆積層(砂質シルト～砂質土)を確認したが、φ11・3ではこれが確認されず基盤層とみられる黄褐色砂質シルト(図4-26層)及び固く締まった砂礫(同27層)が現れた。このためSR01の西端はφ11・2・3間に位置するとみられる。遺物はφ11の灰黄褐色砂質シルト～砂質土から弥生土器甕(図6-6)・壺等の把手(同7)・鉢(同8)・高杯か鉢の脚部(同9)、灰オリーブ色粘質土から弥生土器壺(同10)が出土した。6は平底の底部を有し外面に右上がりの平行タタキが施される。7は外面に5条のヘラ描き直線文がみられる。8は杯部の先端が折れ曲がる。9は脚端部が断面三角形に拡張し外面に鋸歯文が施文される。10は口縁部が湾曲しながら外反し端部は下方に肥厚する。これらは中期(Ⅲ期)から後期(V期)に属すとみられる。

**ピット** SP01～03はいずれも径30cm前後を測る(図3・4)。SP01・02から土器極細片が出土した。

#### (2) 2区の遺構・遺物

**旧河道** SR02は2区全体に及ぶ(図3・5)。埋土(図5-9層以下)は北西から南東に下降する。南端部では検出面から1.0m近く掘削したが河道の底に到達しなかった。灰黄色シルト質細砂(図5-13層)から古墳時代の須恵器杯蓋(図6-11)が出土した。

### 4. 総括

調査の結果、調査地の南東部は微高地上に位置し、溝(SD01～03)・ピットが検出された。このうちSD02は旧河道SR01に後出するもので、古墳時代以降のものと思われる。微高地の外縁部には旧河道(SR01・02)が位置し、出土遺物からみて弥生時代後期から古墳時代までは流路であったと考えられる。

註1 新潟市1998『新潟市史 第七巻上 資料編 自然』新潟市、大谷輝彦2010『辻井遺跡2』『新潟市史 第七巻 資料編 考古』新潟市のほか新潟市教育委員会の既任調査による。

註2 岡本敬子1998『古代出土と医学』への覚書—スナナヒコナの羽根・扁鏡・小形多孔土器—『神戸女子大史学』15号によると、小形多孔土器の出土地は近畿地方に多く、黒点の密集帯が発見されているとされる。内部に灰状及び白色の固形物が付着する例が知られるが、今回の資料には確認されなかった(写真図版2)。

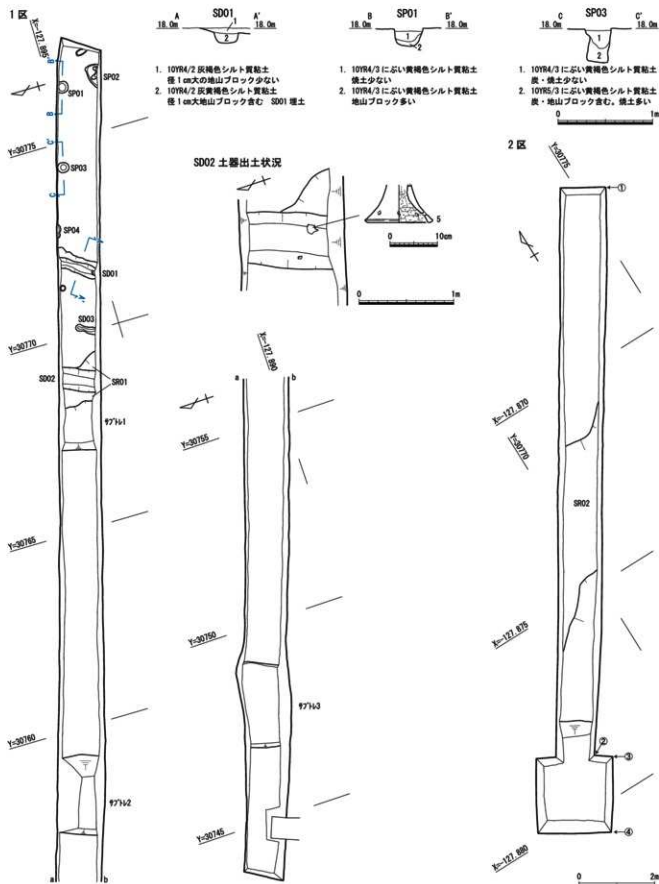


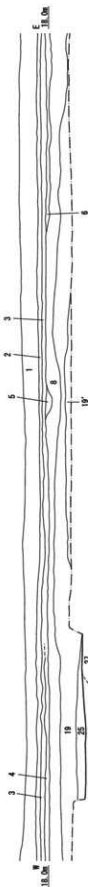
図3 1区・2区平面図 (S=1:100)、SD01・SP01・SP03断面図 (S=1:40)、SD02土器出土状況図 (S=1:40)



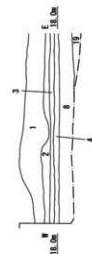
97161



97162



97163



97164



1. 粘土  
 2. 576/3 に近い黄褐色シルト質粘土 粘土  
 3. 576/6 暗黄褐色シルト質粘土 腐化炭層  
 4. 575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 5. 575/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 6. 575/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 7. 10765/4 に近い黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 8. 10765/2 に近い黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 9. 10765/2 に近い黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 10. 7.10764/2 暗褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 11. 10764/3 に近い黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 12. 10764/3 に近い黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 13. 10765/1 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 14. 10765/1 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 15. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 16. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 17. 10763/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 18. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 19. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 20. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 21. 574/2 灰オリーブ色粘土 粘土少ない  
 22. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 23. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 24. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 25. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 26. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 27. 10767/1-2 10767/1 黄褐色シルト質粘土 オリーブ黄褐色粘土 基層部
18. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 19. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 20. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 21. 574/2 灰オリーブ色粘土 粘土少ない  
 22. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 23. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 24. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 25. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 26. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 27. 10767/1-2 10767/1 黄褐色シルト質粘土 オリーブ黄褐色粘土 基層部
18. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 19. 10764/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 20. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 21. 574/2 灰オリーブ色粘土 粘土少ない  
 22. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 23. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 24. 2.575/3 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 25. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 26. 10765/2 黄褐色シルト質粘土 粘土少ない  
 27. 10767/1-2 10767/1 黄褐色シルト質粘土 オリーブ黄褐色粘土 基層部

図4 1区北壁土層断面図 (S=1:50)

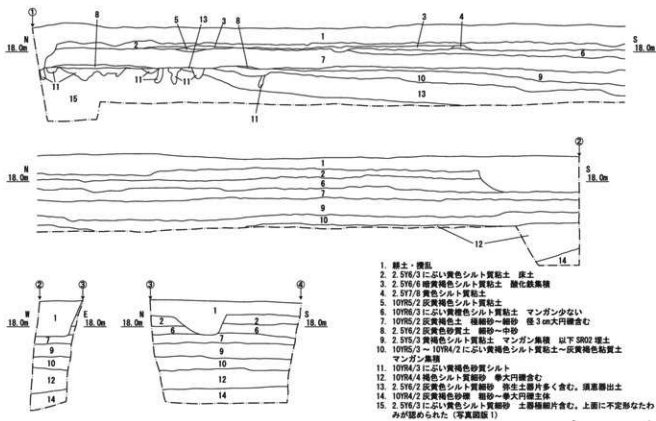


図5 2区東壁土層断面図 (S=1:50)

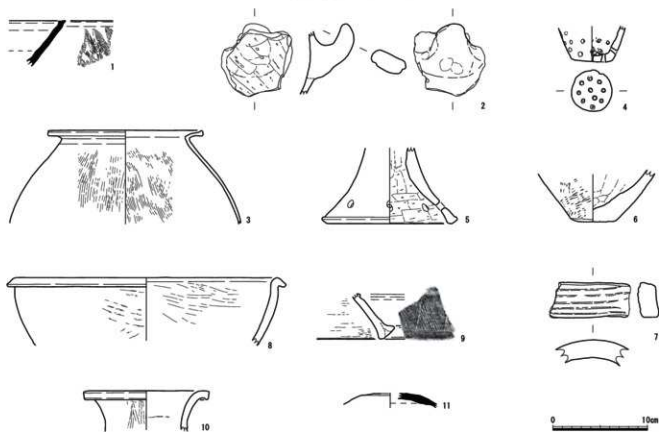


図6 出土遺物実測図 (S=1:4)



SD01 断面 (北から)



SD02 弥生土器高杯 (5) 出土状況 (北から)



1 区北壁 (97H1 周辺・南西から)



1 区北壁 (97H2 周辺・南西から)



2 区 SR02 15 層上面のたわみ (北から)



2 区東壁 (南西から)



1 区 SR01 東端から 1 区東端 (西から)



2 区全景 (南から)



出土物写真

## 報告書抄録

ふりがな	つじいせき だいまりじはつくつちようきほうこくしよ							
書名	辻井遺跡-第39次発掘調査報告書-							
シリーズ名	姫路市埋蔵文化財センター調査報告							
シリーズ番号	第75集							
編者名	南 聖和							
編集機関	姫路市埋蔵文化財センター							
所在地	〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元 414番地1				TEL. (079) 252-3950			
発行年月日	平成31年(2019年)3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
つじいせき 辻井遺跡	ひょうごけんたけしまつちょう 兵庫県姫路市北今宿 にほんろ 二丁目177番2	28201	020162	34° 50° 48°	134° 40° 11°	2018.3.23 ～ 2018.3.31	52.5㎡	宅地開発
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			遺跡調査番号	
辻井遺跡	集落跡	弥生～古墳時代	溝・ピット	弥生土器・須恵器			20170550	

## 例言

- 本書は、姫路市北今宿二丁目177番2で実施した辻井遺跡の発掘調査報告書である。
- 発掘調査は昭和自宅株式会社から委託を受け、姫路市が実施した。
- 調査は姫路市埋蔵文化財センターの所管と担当した。
- 本書の執筆・編集は南がこなした。
- 調査に関する写真・図等の調査記録、出土品は姫路市埋蔵文化財センターが保管している。
- 標高は、東京湾平均海面（T.P.）を標準としている。方位は標準北を示す。
- 上層名の色調は、農林水産省農林水産技術開発センター「財団法人日本色彩研究所」監修『新標準土色帖』に準拠した。
- 遺構は、原則的にアルファベットと数字を組み合わせた番号で表記した。堀溝は、S0～S9、SP～ピット、SB～目利溝を表す。

姫路市埋蔵文化財センター調査報告 第75集

## 辻井遺跡-第39次発掘調査報告書-

編 集 姫路市埋蔵文化財センター  
〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元 414番地1  
発 行 姫路市教育委員会  
〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地  
発 行 日 平成31年(2019年)3月31日  
印刷・製本 株式会社デイリー印刷  
〒671-0218 兵庫県姫路市筋東町庄57-2